

Expand Your World

子どもたちが自らの世界を広げ、
力強く輝いてほしいという
願いがこめられています。

11号



○各クラスの様子

1Qも後半戦に入っています。今週は、
各クラスの様子を紹介いたします。

○1組 学活の様子～リーダー会議～

学級活動の一つとして「リーダー会議」に取り組んでいます。クラスには、

- ・グループリーダー あいさつや友達関係について
- ・ランチリーダー ランチの食べ方や準備/片づけについて
- ・ディストリビューション/スタディリーダー 配りものや学習について
- ・クリーニングリーダー 掃除について

の4つのリーダーがあり、それぞれのリーダーが集まって、クラスをよりよくするための話し合いを行っています。例えば、クリーニングリーダーは掃除の仕方や過ごし方について、ランチリーダーは給食の準備や食べ方、給食時間の過ごし方などについて話し合っています。

この活動には、大きく3つの目的があります。

1つ目は、**正解のない問題に対して、自分たちで考え、実践し、振り返るという一連の探究プロセスを経験することです。**

2つ目は、**クラスのことを「誰かがやってくれること」と考えるのではなく、「自分たちのこと」として関わる姿勢を育てることです。**

3つ目は、**話し合いを通して、自分たちで合意形成をしていく経験を積むことです。**

4月からすでに3～4回ほど会議を行っていますが、少しずつ子どもたち自身で考え、行動しようとする姿が見られるようになってきました。特に、ランチリーダーの取り組みでは、「給食を5回連続で残さず食べられた人に賞状を渡す」という活動を行いました。その結果、「賞状をもらえるように頑張る!」と前向きに取り組む子どもたちが増え、給食を減らす人数も少しずつ減ってきています。

活動を通して、子どもたち同士で声をかけ合いながら、「クラスをもっとよくしていこう」と動き始めている姿に、大きな成長を感じています。これからも、子どもたちの主体性を大切にしながら、取り組みを進めていきます。

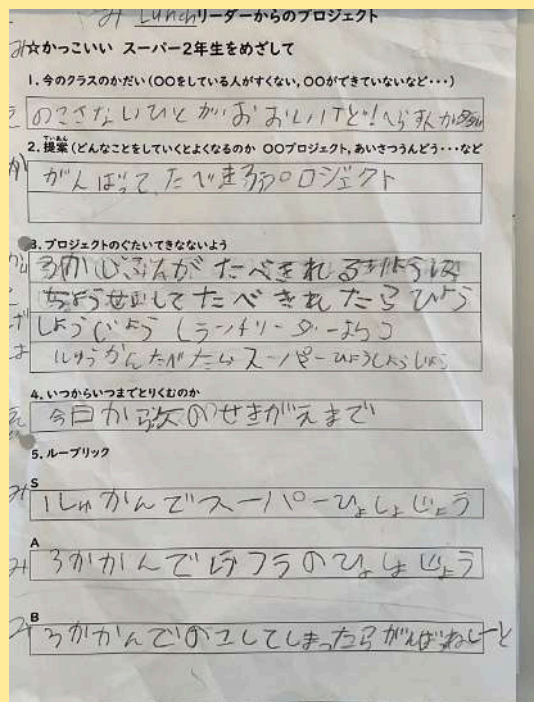
○2組 生き物に夢中

2組では、多くの子どもたちが、Life Studyで学習している生き物の飼育に夢中になっています。

飼育しているカナヘビを触ったり、エサとなるバッタやクモを捕まえに行ったり、ダンゴムシを育てたりと、生き物との関わりを日々楽しんでいます。最初はおそろおそろ生き物に触れていた子どもたちも、今では「私、さわれるよ!」と得意げに話してくれるようになりました。

幼少期に自然と触れ合う経験は、知的な面でも情緒的な面でもとても大切だといわれています。生き物や自然に目を輝かせながら関わる2組の子どもたちの姿に、毎日感心しています。

また、低学年は、さまざまなことに興味や関心を広げていく時期です。授業はもちろん、休み時間も学びのある時間にしていけるよう努めていきます。



○3組 「+αのうごき」

最近の教室では、「自分の係だからやる」を超えた「+α」の自発的な行動がたくさん見られます。

・進んでボランティア！

バラバラのバインダーを整頓したり、給食の片付けを自分から手伝ったりと、気づいた人がサッと動いてくれています。

・学習への意欲も満点！

「算数プリントをもっとやりたい！」と自ら増やし、家庭学習でたくさん挑戦してくる頼もしい姿もあります。

クラス全体でも挨拶が活発になり、「2-3 あいさつの木」がぐんぐん成長中！水筒の整頓やゴミ拾いも、進んで行う子が格段に増えました。

学級開きで伝えた「もの・人を大事にする」という約束が、子どもたちの行動として実を結んでいます。自分のことをしながら、友達やクラスのことにも気遣える。そんな「先生がいなくても自分たちで高め合えるクラス」を目指して、これからも子どもの自立を育てていきます。



○靱山 音楽より ～声を合わせる喜びを感じて～

「先生、今日Musicある？」と、子どもたちは音楽の授業をいつも楽しみにしてくれています。「今日はないんだよ」と伝えると、「え〜っ」とガッカリする姿がとても微笑ましく、嬉しい限りです。

4月から取り組んできた「ともだちできたよ」の歌。2年生になった子どもたちには、ただ楽しく歌うだけでなく、「曲に合った歌い方」を身につけ、みんなで声を合わせる喜びを感じてほしいと願っています。先日、担任の先生が聴きにきてくださった時にはやる気がさらにアップ！「うれしいな、うれしいな」の歌詞では特に気持ちがこもり、練習してきた強弱の表現を存分に発揮して、声を一つに気持ちよく歌い上げることができました。

授業では、“echoing voice”、“focus on the pitch”、“on the beat”などのキーワードを身体で実感しながら、歌う・動く・書くといった様々なアプローチを取り入れています。これからも音楽の魅力を全身で体験し、豊かな表現力を育ててまいります。

